

# 地域に貢献する人材育成に向けたキャリア教育の取組について

## 教育委員会

### 教育大綱におけるキャリア教育の位置付け

#### 基本方針（6）

生まれ育った本市の風土を愛し、地域に貢献したいという郷土に対する愛着心を育む

小学校から高等学校までの各ステージにおいて、世界文化遺産や明治維新をはじめとする郷土の歴史や偉人等を学ぶことを通じた郷土の理解を深める取組や体験活動、地元産業や企業を知る職場体験学習等を通じたキャリア教育、郷土を意識し、学ぶことにつながる機会となる国内外との交流や地域の様々な人々との交流、まちづくりについて意見交換を行う取組等を進めます。

### 学習指導要領におけるキャリア教育の位置付け

#### キャリア教育

児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるようにすること。

### 各校種における主なポイント

小学校：働くことの大切さの理解や、社会性、自主性・自律性、関心・意欲等を養う。

中学校：社会における自らの役割や将来の生き方、働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導く。

高等学校：学校から社会・職業への移行を見据えて、視野を広げ、進路を具体化し、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を伸張・深化させる。

### ○ キャリア教育に関する取組（H30年度）

小・中・高等学校におけるキャリア教育に係る職場体験学習や体験活動等の実施率

小学校（100%） 中学校（100%） 高等学校（100%）

主な事業：「個性あふれる学校づくり推進事業」、「市立高校就職サポート事業」

#### 1 小学校の主な取組

##### (1) 職場見学（48校）

実際の職場の様子や、働いている人の姿を見学する。

##### (2) ものづくり（46校）

地域の人材を活用して、郷土の伝統的な物や料理などをつくる体験を行う。



豆腐づくり

## (3) 農業体験（64校）

地域の人材や田畑を活用して、食物の栽培や収穫等の体験を行う。

## (4) 交流活動（55校）

地域の人材や施設を活用して、交流活動を行う。



大豆の収穫

## 2 中学校の主な取組

## (1) 職場体験学習（38校…1校は実施学年変更のため、30年度のみ未実施）

地元にある事業所で、実際に仕事を体験したり、そこで働く人々と接したりする体験学習を行う。

- ・ 体験事業所（コンビニ、スーパー、書店、飲食店、公共施設、幼稚園 など）

## (2) 講話学習（39校）

地域の社会人や保護者等を学校へ招き、職業に就くまでの経緯、仕事の魅力や苦労など、講師の経験を基にした講話を聞く。

職場体験学習  
（交通局）職場体験学習  
（幼稚園）講話学習  
（キャリア教育講演会）

## 3 高等学校の主な取組

## (1) インターンシップ・職場体験学習（3校）

就職を希望する企業や事業所等で、実際に仕事を体験したり、そこで働く人々と接したりする体験学習を行う。

- ・ 体験事業所（銀行、百貨店、病院、ホテル、美容室、幼稚園、公共施設 など）

## (2) 講話学習（3校）

著名人や卒業生等を学校へ招き、希望する職業や仕事のこと、社会人のマナーや勤労観・職業観等についての講話を聞く。

## (3) 市立高校就職サポート事業

市立高等学校新規卒業予定者の雇用創出に向けて、新規求人開拓を積極的に進めるために、就職支援員を配置し、求人開拓や情報提供、雇用のミスマッチを防ぐ支援や入社後に必要な人間関係形成能力や課題対応能力を高める指導等を行う。

- ・ 就職内定率100%